



瓊浦高等学校 学校通信 第 129 号  
令和5年5月31日発行 電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245



## 瓊 浦 の 窓

自分の言の葉をしっかりと育てよう

教頭 畑野 公昭

初々しい木々の新緑の葉も、次第に色を深くして夏に向かう季節を感じさせる頃となりました。生徒の皆さんも、新年度スタートから約2ヶ月を経て、やや落ち着いた中で、目前に迫った高総体への練習にいっそう熱が入ったり、自らの進路実現や学習面での課題克服に向けて本格的に動き出したりしていることでしょう。

私は、この4月から瓊浦高校に赴任していますが、生徒の皆さんのが明るく前向きで、活気のあるところや、分け隔てなく人と接し親切なところが、とても魅力的で素晴らしいと感じています。また、部活動に熱心に取り組んでいる生徒の皆さんも、競技力や技術力の向上だけでなく、朝の清掃や元気のよい挨拶などを通して人間性や社会性を磨いているところにとてもすがすがしさを感じます。

そのような瓊浦高校の生徒の皆さんに、3年間でぜひ身に付けてほしい力は、やはり「言葉の力」でしょう。頭脳がやわらかな青年期の今こそ、様々な知識や高い思考力を獲得する大きなチャンスです。そして、その土台となるのが「言葉」です。入り口は、やはり「漢字の読み書き」でしょう。耳で聞いてわかる言葉の世界だけでは、深く考えたり学んだりすることには限界があります。漢字力が高まれば、文章やテキストを読む速度が格段に上がります。理解力も高くなるでしょう。また、自分の考えを簡潔でわかりやすい文章にまとめて書くことができるようになります。読み書きの基礎である漢字はスポーツと同じで、習得にはトレーニングが必要ですが、きちんと練習すれば誰でも読み書きができるようになります。「書き取り」は、ゆっくりと丁寧に3回～5回ほど書いて覚える。あとは復習で書けない語句を繰り返し練習するのみです。

そもそも日本語は習得が難しい言語だと言われています。アメリカの国務省（外務省に当たる）が出している「外国語習得難易度ランキング」では、アラビア語や中国語、韓国・朝鮮語を抑え、日本語は、ただ一つカテゴリー5+の最高ランク（！）に輝いています。表記は英語がアルファベットのみに対して、日本語は漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字の4種類が入り交じり、その上、音読み・訓読み、濁点・半濁点、擬音語・擬態語、さらには主語や目的語の省略、世界でも数少ない敬語表現などが渾然一体となった文章を読み解かなくてはならず、英語圏の人からすると「？」のオンパレードのようです。言葉の数は日本語も英語も約50万語と変わらないようですが、日常で使われる言葉の数は、フランス語で1000語程度、英語で2000～3000語程度に対し、日本語は実に5000語程度だとも言われています。

したがって、私たち日本人もまた、日本語を習得するにはそれなりの努力が必要です。特に高校生までの間に、意識して言葉や言葉遣いを習得する、本や新聞を日頃から読む、考えたことをよく推敲して書くといったことに努めることができ、その後の豊かなコミュニケーションや深い思考、適切な判断を育んでいくことになります。日本最古の歌集「万葉集」の歌の一節には「大和は言霊の幸はふ国」（日本は言ったことが本当になるという言葉の不思議な力が幸運をもたらす国）とあります。昔から日本では言葉の力を畏敬の念を込めて尊んでいたことがわかります。夏に向かう木々の葉が生氣を高める季節の今、皆さんも自分の言の葉を豊かに育てることにぜひチャレンジしてみてください。

## 避難訓練

5月15日（月）、校内避難訓練が実施されました。今回は、職員室で火災が起きたことを想定し、避難するルートの確認や注意事項等の徹底がなされました。放送機器のトラブルがあり、予定通りの実施とはいかなかったのですが、こうした想定外のトラブルも含め、改めて災害時の訓練になったのではないかと思います。

また、避難訓練後には、総合体育館にて実際の消防隊員の方から講話ををしていただきました。火災に限らず、災害時にどのような対応をすべきか、予想外のトラブルにどう対処すべきかなど、専門家の目線でお話をいただき、生徒たちのみならず、職員にとっても改めて考えさせられる内容でした。

長崎県は比較的地震も少なく、災害が少ない県だと言われています。しかし、台風や大雨などを中心に、いつ、何が起こるのかわからないのが自然災害の恐ろしいところです。災害時に取り乱さないよう、日頃から災害時のマニュアルを十分に把握し、落ち着いた行動ができるよう、しっかりと心の準備をしておきましょう。



## 地域清掃活動

5月16日（火）、2学年による地域清掃活動が行われました。これは日頃からお世話になっている、伊良林、矢の平地区周辺の清掃を行う活動で、コロナ流行以前は毎年行っていたのですが、ある程度流行が落ちていたこともあって、今回久しぶりの実施となりました。

各クラス担当区域を設定し、おのおの掃除道具を持っての清掃活動。日頃使っている通学路などに落ちている空き缶やたばこの吸い殻など多くのゴミ掃除を一生懸命行いました。

今回の活動を通じて、地域の環境美化につなげるのはもちろんのこと、生徒たち自身の美化意識の高揚につなげてもらえればと思っています。



## 県高総体 展望

いよいよ6月2日の総合開会式を皮切りに、令和5年度の長崎県高等学校総合体育大会、通称「高総体」が開幕します。例年同様、県内の各会場で瓊浦高校の生徒たちが躍動してくれることと大いに期待しています。県内でインフルエンザの流行があり、各会場ごとに観客の制限等があるようですが、保護者の皆様におかれましても、生徒たちの勇姿をぜひご覧になって、応援していただければと思っております。

注目の競技といたしましては、まずは男子バドミントンです。昨年度、念願の全国優勝を果たした同部は、代替わりした今年も全国上位レベルの実力を誇っています。また、男子ハンドボール、男子バスケットボールは、直近の春季戦で県優勝を果たしており、今回の高総体でも優勝が大いに期待されます。さらには、昨年度男女ともに優勝旗を勝ち取った空手道部、今年度から同好会となり校内で練習を始めたボクシングなど、多くの部活動が優勝候補として取り上げられています。

個人競技においても、多くの選手が活躍を期待されています。先に挙げた男子バドミントン部の生徒たちはもちろんですが、陸上部男子中距離の井口くんや水泳部女子の宮野さんなど、全国レベルの力を持っている生徒が多くの部に在籍しており、記録の更新ならびに上位大会での活躍が期待されています。

ここで名前を挙げた部以外にも、優勝、もしくは上位進出を狙う部、選手が多数存在し、今年の高総体期間中も、新聞記事を瓊浦の名前が賑わしてくれることとなりそうです。高総体の各競技結果につきましては、Classiならびに学校HPにて随時発信しますので、ぜひともご覧になっていただければと思います。なお、インフルエンザの流行等の関係もあり、運動部所属以外の生徒につきましては、期間中は家庭学習となりますのでご了承ください。

## 6月の主な行事

6月 1日	高総体推戴式	19日	創立記念集会
2日	高総体開会式		創立記念週間（～23日）
3日	県高総体（～6日）	20日	三者面談③（～23日）
7日	振替休日〔6／4〕	22日	期末考査（～27日）
8日	歯科検診（～9日）	25日	創立記念日
13日	企業訪問報告会 高総体結果報告会 心肺蘇生・AED講習①	27日	性教育講話
14日	第2回実力試験③		

## 部活動戦績

### 卓球部

長崎県高等学校春季卓球選手権大会

男子ダブルス

- 第2位 坂本・趙  
第3位 小田原・山崎  
大久保・川村

男子シングルス

- 第2位 趙禹潼（普3D）  
第3位 坂本蓮（普3D）

### 水泳部

長崎県高等学校春季水泳競技大会

男子総合 第3位

女子総合 第4位

男子4×100mフリーリレー

第2位 野上・米澤・福井・高比良

男子4×100mメドレーリレー

第3位 浦川・野上・高比良・米澤

男子50m平泳ぎ

第2位 芝田瑠哉（機3C）

男子200m平泳ぎ

第3位 谷口 隆弥（機2A）

男子100m背泳ぎ

第3位 浦川 宰（機1B）

男子200m背泳ぎ

第2位 浦川 宰

男子200m個人メドレー

第2位 野上 海斗（普2C）

男子400m個人メドレー

第2位 野上 海斗

女子50m自由形

第2位 宮野 さくら（情2A）

女子100m自由形

第2位 宮野 さくら

女子800m自由形

第3位 太田尾 美璃（普2D）

女子50mバタフライ

第2位 松木 海音（情2A）

女子100mバタフライ

第3位 松木 海音

女子400m個人メドレー

第2位 中道 愛心（情3A）

### 陸上競技部

長崎県陸上競技選手権大会

男子200m

第6位 山崎 海輝（機3C）

男子400m

第8位 山田 蓮（機3C）

男子800m

優勝 井口 愁斗（普3D）

男子1500m

優勝 東 秀叡（機3B）

第7位 真崎 俊介（普2D）

男子5000m

第6位 川口 新太（機3C）

男子3000mSC

第3位 東 秀叡（機3B）

男子4×400mリレー

第6位 山田・山崎・中尾・島口

女子400m

第7位 森 あむ（普2D）

